

平成 27 年度 事務事業評価シート 【 事後評価 】

※色付きのセルのみ入力してください。また、行・列の挿入や削除は絶対に行わないでください。

会計	款	項	目	事業コード	事業名	
一般	02	01	06	0420	集落活性化推進事業	
総合計画	重点戦略	地域づくり				
	分野	4-1 地域主体のまちづくり				
	政策	1 地域づくりへの参加促進				
	施策					
目的	人口減少、少子高齢化が進む太田地区において、地域の活性化を推進するための今後10年間の太田地区の将来プラン策定等を支援する。					
対象	花巻市太田地区の住民					
意図	10年後の生活に必要な物流、交通、生活サービスの消失が懸念されることから、現状を改善するしくみづくりを支援する。					
事業概要	…上記目的を実現するための事業手法を記載すること					
<p>太田地区振興会が実施する「小さな拠点」を核とした「ふるさと集落」形成推進事業に対し国交省の補助金を活用した補助金交付を行い、集落の活性化に資する。</p> <p>○「プランづくり」 太田地区において、地区全体をひとつの生活圏としてとらえ、アンケートやワークショップによる住民ニーズの把握やシンポジウムを開催し、プランづくりを実施。</p> <p>○社会実験 アンケート結果を踏まえて、平成27年度は除雪支援と太田乗合タクシーの「社会実験」を行い、結果を検証し、次年度以降プランに反映させる。</p>						
市民参画の有無 [対象外]						
市民協働の形態		共催	実行委員会・協議会	事業協力・協定		
		後援・協賛	○ 補助・助成	委託		
活動指標（上記「事業概要」に対応）		単位	区分	26年度(実績)	27年度(実績)	28年度(計画)
① 高齢夫婦世帯	世帯	計画			20	
		実績				
② 高齢単身世帯	世帯	計画			17	
		実績				
③		計画				
		実績				
成果指標（上記「意図」に対応）		単位	区分	26年度(実績)	27年度(実績)	
① デマンドタクシー利用者	人	目標			36	
		実績			47	
② 除雪支援利用者	世帯	目標			35	
		実績			18	
③		目標				
		実績				
成果指標の達成度	目標値より高い		○	概ね目標値どおり		目標値より低い

成果指標の達成度の要因分析 (新規事業及び成果指標を変更した場合は、その成果指標を設定した考え方、目標値の根拠を記載)		
<p>本事業では、デマンドタクシーを活用した地域交通ネットワークの実験、移動購買車の運行および配食サービスを実施する予定であることから、それぞれのサービス利用者（延べ数）を成果指標とした。</p> <p>デマンドタクシーは高齢単身世帯だけではなく、運転免許のない高齢者の利用が見込まれるが、平成27年度は陸運局等の協議に時間を要し、実際の運行期間は平成28年3月から1か月間のみとなった。しかしながら、1便当たりの利用者が目標値として設定した2.0人を超えて利用されたことから目標値を上回った。</p> <p>また、除雪支援については高齢単身世帯のみならず高齢夫婦世帯の利用も見込んでいるが、暖冬により降雪日数が少なかったことから利用が少なかった。</p> <p>事業全体としては、デマンドタクシーの愛称を募集するなど機会を捉えて事業周知に努めた結果、利用したい人が事業を認知し、必要に応じて利用しているものと判断し、概ね目標値どおりの達成と判断した。</p>		
目的妥当性	公共関与の妥当性	太田地区における物流、交通、生活サービスの現状改善のためのプランづくり、社会実験であり、地域による自主的な地域課題解決に向けた事業であることから、公共関与は妥当である。
	<input type="radio"/> 妥当である	
	見直し余地がある	
	<input type="radio"/> 妥当でない	
有効性	成果の向上余地	運転免許がなく、移動の足がない高齢者のニーズや除雪支援に対するニーズが、この社会実験により把握できることから、向上の余地がある。
	<input type="radio"/> 向上余地がある	
	向上余地がない	
効率性	事業費・人件費の削減余地	事業費に補助金を導入するほか、利用者に対しては一部個人負担を求めることから、削減の余地はない。
	事業費の削減余地がある	
	人件費の削減余地がある	
	<input type="radio"/> どちらも削減余地がない	
公平性	受益と負担の適正化余地	太田地区全域を対象とした事業であり、利用者に対しては一律個人負担を求めるものであることから、受益と負担は適正である。
	受益機会の見直し余地がある	
	費用負担の見直し余地がある	
	<input type="radio"/> 適正である	
総合評価 …上記評価結果の総括		
<p>プランづくりのためにアンケート調査や住民個々のヒアリングを行ったことで、地域のニーズを把握することができた。</p> <p>作成するプランについて、シンポジウムの開催や2か年にわたる社会実験を踏まえて、補助金に頼らずとも、地域づくり交付金の中でこの取組を継続していくことの検討が求められる。</p>		

平成 27 年度 事業説明資料

【 事後評価 】

※色付きのセルのみ入力してください。また、行・列の挿入や削除は絶対に行わないでください。

会計	款	項	目	事業コード	事業名
一般	02	01	06	0420	集落活性化推進事業

単位：千円

		26年度 決算額(A)	27年度 決算額(B)	28年度 現計予算額	決算額前年比 (B-A)
事業費			2,442		2,442
財 源 内 訳	国・県		2,442		2,442
	地方債				
	その他				
	一般財源				

事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度繰返	<input checked="" type="checkbox"/> 期間限定	[平成 27 年度 ~ 平成 28 年度]
------	--------------------------------	------------------------------------------	-----------------------

部重点施策における目標

コミュニティ会議の基盤を強化する。(自主的な地域づくり活動の活性化)

事業開始の背景・経緯

人口減少や高齢化が先行・加速化する太田地区において、地区全体をひとつの生活圏としてとらえ、集落の役割を強化しつつ、生活維持に向けた取り組みとして「プランづくり」と「社会実験」を行うとともに、結果を検証し、次年度以降プランに反映させる。

事業概要

太田地区振興会が実施する「小さな拠点」を核とした「ふるさと集落」形成推進事業に対し国土交省の補助金を活用した補助金交付を行い、集落の活性化に資する。

○「プランづくり」

太田地区において、地区全体をひとつの生活圏としてとらえ、アンケートやワークショップによる住民ニーズの把握やシンポジウムを開催し、プランづくりを実施。

○社会実験

アンケート結果を踏まえて、平成27年度は除雪支援と太田乗合タクシーの「社会実験」を行い、結果を検証し、次年度以降プランに反映させる。

事業を展開する上での課題、留意事項 / 意見・要望等

本事業は、あくまでも社会実験であり、2カ年の補助が終わった後は地域づくり交付金を活用して本事業を継続していくとしているが、不確定である。

担当部署 部名 総合政策部 課名 地域づくり課 担当係長 阿部 勇悦 内線 453

(単位：千円)

《事業手法の詳細》…概略図による事業手法の詳細と事業費の内訳を記載すること。
【適宜、セルは結合して構わないが、結合した1つのセル内は1文章程度にとどめること。】

●「小さな拠点」を核とした「ふるさと集落生活圏」形成推進事業
集落活性化推進事業費補助金 2,442千円 ※県内では本市のみ。

※国(国土交通省)補助事業【国10/10→市→地域(太田地区振興会)】

- ・補助対象経費：市町村以外の者が事業を実施する経費に対する市町村の補助に必要な経費
- ・事業主体：事業を行う地域の市町村長が認定したまちづくり協議会など
- ・補助対象事業：プランづくり・社会実験

「小さな拠点」を含む生活圏のあり方の検討、全体構想の検討・策定の他、具体化に向けた社会実験の活動に必要な事業

- ・補助率等：プランづくり・社会実験 定額補助(1件当たり上限300万円)2か年度以内

●申請経過～交付決定までのスケジュール

H27.2.13 太田地区振興会から当該補助事業の申請について市に要請

H27.2.20 市から国土交通省に事業構想提出

H27.4.15 国土交通省から市に内示(速やかに予算措置を行うこと条件あり。)

H27.4.17 市から国土交通省に交付申請書提出

H27.5.1 国土交通省から交付決定

※H27・28の2か年事業として事業計画を提出し、単年度ごとの交付決定となるもの

●主な申請内容

(プランづくり) ※太田11集落をもって小さな拠点を形成し、高齢者の生活維持に向けた将来プランを策定

- ①地域の点検、住民ニーズの把握(アンケート調査、ワークショップ等の実施) [H27]
- ②必要な生活サービスを分野別、エリア別にとりまとめ [H27]
- ③「小さな拠点」づくりに向けた体制整備、課題の把握と対策 [H27/H28]
- ④運営体制の検討、住民組織や地域団体の協力体制の整備、合意形成 [H27/H28]
- ⑤シンポジウムの開催 [H27/H28]
- ⑥「(仮称)地域の安心と希望をつなぐ太田プラン」の冊子作成 [H28]

(社会実験)

- ①デマンドタクシーを活用した買い物や通院などの地域交通ネットワークの実験 [H27/H28]
- ②集落の高齢者が集う「サロン」への移動購買車の運行 [H28]
- ③一人暮らし世帯や高齢者世帯への配食サービスと見守り・声掛けの実施 [H28]
- ④一人暮らし世帯や高齢者世帯への除雪支援(冬期間) [H27/H28]

平成 27 年度事業説明資料

【 事後評価 】

※色付きのセルのみ入力してください。また、行・列の挿入や削除は行わないでください。

会計	款	項	目	事業コード	事業名
一般	02	01	06	0420	集落活性化推進事業

(単位：千円)

《事業手法の詳細》…概略図による事業手法の詳細と事業費の内訳を記載すること 【適宜、セルは結合して構わないが、結合した1つのセル内は1文章程度にとどめること。】

全体計画		(単位：千円)			
取組・ 検討事項等	平成27年度(実績)		平成28年度		
	概要	経費	概要	経費	
プランづくり	①地域の点検、住民ニーズの把握	・アンケート調査、まとめ ・印刷費用	321 460		
	②活動計画の検討	・ワークショップの開催 (コーディネーター謝金)	302		
	③活動を実施するための体制検討	・アドバイザー謝金	100	・アドバイザー謝金	300
	④先進地視察	・島根県	492		
	⑤プラン(案)の作成	・アドバイザー謝金	101		
	⑥プランの合意形成、プランの確定	・シンポジウムの開催 ・プラン印刷費	304 100	・シンポジウムの開催	500
社会実験	①デマンドタクシーを活用した買物や通院などの実験	・デマンドタクシー借上料	208	・デマンドタクシー借上料	1,320
	②サロンへの移動購買車の運行			・地区内団体へ委託	220
	③配食サービス、見守り・声かけ			・地区内団体へ委託	220
	④除雪支援	・地区内団体へ委託	54	・地区内団体へ委託	440
全体		2,442		3,000	